

自然環境への気づきを深めよう！

はらいがわ 祓川生態系維持回復事業

櫛田川の支流『祓川』は、土の護岸が残る貴重な河川であることから、平成20年に三重県自然環境保全地域に指定されました。三重県が行っている事業に、生きものグループが参加して生物の捕獲と記録を行っています。



川底や堤が自然の状態が残っているため、水辺には植物や河畔林が茂って、景観の美しい川です。

魚の生息環境を知ろう

まず、例えば茂みの下や、川底の石の隙間、川の淀み（水が流れずにたまっていくところ）などで、種類によって生息している環境が異なります。水中めがねなどで川の中の魚を観察することもできます。そうすることで

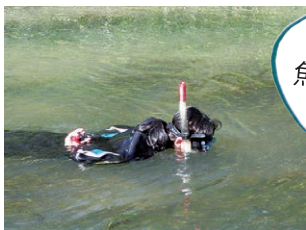


主に川底で見られるハゼ科のヨシノボリ類。腹びれが吸盤状になっていて、石などにくっつくことができます。

まず魚を捕まえるには、川の中でやみくもに追いかけるのではなく、魚が潜んでいるような場所を探していき

季節によって魚の数や種類の変化に気づきます。

生息環境を知るには魚の目線で観察してみるといいよ！



調査では、胴長やウエットスーツ（冬はドライスーツ）を着用します。川の中は転倒しやすく、胴長は、中に水が入ると危険です。水位の高い川では、ウエットスーツを着用するようにしています。



魚の捕獲方法

捕獲方法は対象とする魚や川の環境や地形などによって漁具を使い分けます。川底の水草や石の影に隠れた魚を捕獲するには、タモ網を使うことが多く、『ガサガサ』と呼ばれる方法で網の中に魚を追いつまわすようにして捕まえます。ほかにもさまざまな方法で捕獲しますが、当然、魚の動きはすばやく、捕獲には技術が必要です。

これが『ガサガサ』だ！

足で草の根を蹴ったり、川底をかきまぜたりして魚をタモ網の中へ追い込みます。ポイントは魚が向かって泳ぐ下流にタモ網を置いて『ガサガサ』することです。

タモ網を川底にくっつけて構えます。魚が逃げないようにね！



色々な魚が捕れました！



『さで網』で追い込み作戦

半円型のさで網に向かって、みんなで協力して魚を追い込んで捕まえます。



※祓川生態系維持回復事業は特別な許可を得て、これらの漁具を使用しています。

